

授業科目名 (英文名)	外書演習 (Advanced seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	井倉 法久	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	経営科学の知識の中でも、本演習では、特に情報システムやコンピュータサイエンス分野の基礎的知識の習得を目標とする。最終的には、この分野に関する英文文献に読み慣れることで、英文で書かれた海外の情報サイトからも必要な情報を得られるようにすることと、プレゼンテーションに慣れることを到達目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>・講義内容</p> <p>本演習では、主にコンピュータを更に踏み込んで使用するための基礎的知識を、英文文献(場合によっては、和文文献を利用することもあり)を用いて習得し、国内だけでなく海外の情報サイトからも必要な情報を得られるようにすることが目標である。また、各回の演習では、その回の担当者が事前準備の上で、他のゼミ生に対し、その内容に関する授業(プレゼンテーション及びPC演習)を行う。最終的には、実際に何らかの成果物を作成し、それについての発表を各自に行うようにする予定である。</p> <p>文献のキーワード： 購読文献は1回目の授業時に相談の上で決定するが、以下のキーワードに関連する文献を使用する予定である。 Webページ作成 (HTML, CSS, JavaScript等) , プログラミング (Excel VBA, Ruby等) , アプリケーション作成</p> <p>・授業計画</p> <p>1 . イントロダクション及び購読文献の決定 2 - 13 . 文献の購読&演習 (前期) 14 - 15 . 夏季休業中の目標・課題の設定 16 - 17 . 夏季休業中の成果の発表 18 - 24 . 文献の購読&演習 (後期) 25 - 28 . 本演習における成果物の作成 29 - 30 . 成果物の発表</p> <p>詳細な授業計画は購読文献の内容等によって異なるので、上記計画はあくまで目安である</p>		
テキスト	使用するテキスト等は、1回目の演習時に相談の上、決定する。		
参考文献	必要に応じて適宜指示する。		
成績評価の基準・方法	平常点40% , 授業への参加態度20% , プレゼンテーション&成果物等40%の得点の合計を目安として評価する。なお、毎回の出席及び授業への参加・課題に取り組むことは当然であるということを前提として評価する。よって、理由のない無断欠席や授業参加態度等に問題がある場合は、単位を認めないこともあるので注意すること。		
履修上の注意・履修要件	特に高度な知識を必要とはしないが、情報科学の分野にほぼ特化した形でPCの演習を行う予定なので、最低限、WordやExcel , PowerPoint等のOfficeアプリケーションは無難に扱えることが望ましい。		
実践的教育	該当しない		
備考	担当教員の研究領域は情報科学であり、本演習はWeb技術やプログラミング技術、システム開発等に関する内容を、学部教育科目として開講するものである。		